



# 築造1350年、町の象徴に

基肆城 (佐賀県基山町)

7世紀、佐賀県基山町の山に築かれた「基肆城」。九州の中心・大宰府(福岡県太宰府市)を国難から守る防衛拠点の一つだった。来年で築造1350年になるのを機に、歴史を振り返り、わが町の象徴にしたい。そんな取り組みが、関係自治体とも連携して進められている。

朝鮮半島の白村江の戦い(663年)で唐・新羅連合軍に敗れた日本は、侵攻に備えて翌664年、大宰府を取り囲む防衛ラインを築いた。福岡県側の平野部に壕を掘った「水城」、山城の「大野城」、その間にちよつとつ山城が南に約8地点の

基山(404m)にできた基肆城だ。

多湾が一望できる。天守閣のようなものはなく、尾根伝いに周りを巡らした土塁を、武器・食料の倉庫群が置かれた。その痕跡の一部は、現在も登山道

でたどることができ、

外敵は襲来せず、これらの拠点はやがて廃れたが、いずれも国特別史跡に指定されている。

関係6市町などが「1350年事業実行委員会」をつくり、来年にかけて現地公開や講演会などのイベントを繰り広げる。

基山町は基肆城の歴史を題材にした創作劇に「昨年から力を入れている。今年も中学生が12月公演に向けて練習中。ほか「基肆城検定」や案内ガイド養成などが計画されている。

町の担当者は「基肆城は地元でもあまり認識されていない。改めて内外に広く知ってもらいたい」と話している。(遠山武)



基肆城の土塁があったとされる基山山頂付近。綿長い草原が広がる＝佐賀県基山町

九州の交通の大動脈が十文字に交わる佐賀県鳥栖市のすぐ隣なので、とても便利。九州・長崎・大分の各自動車道につながる鳥栖インターから車で10分。JR鹿児島線の博多ー基山は快速で25分。基山駅から甘木鉄道に乗るのんびり旅もお薦めだ。





## 名物は

1930年創業の菓子店「長崎屋」は昨年1月の火事で全焼。3代目・岡崎さん(49)の再建の日々が始まった。薄皮にあんこが透ける名物「やぶれまんじゅう」、イチゴやブドウなど品ぞろえを増やした「フルーツ大福」、米粉ロールケーキなど、手がける作品は和洋40種類。無添加で上品な味わいが幅広い世代に受けられている。

## 楽しむ

基山山頂から西側に広がる斜面に「草スキー場」がある。土曜で囲まれた基肄城の外側に当たり、地元ばかりか福岡県などからも人が訪れる人気スポットだ。シーズンは春が3〜5月、秋は9〜11月の土・日・祝日。町社会福祉協議会が1台300円で木製スキーを貸してくれる。大小2種類あり、大人も子どもも楽しめる。



## お楽しみ

717年に開創されたのが大興寺。裏山に続く公園は春のツツジ、秋の紅葉でもともと名高い



が、一角にあるハート型のモニユメントも目を引く。近くの契山(403m)山頂で神話の神々が夫婦の契りを結

んだ故事にちなみ、2012年に「恋人の聖地」に選定された。以来、季節を問わず恋人たちが足を運ぶ名所になった。

## プレゼント



大興寺に近い小松地区の農家をつくる農事組合法人「ちぎりの里」は、生産から加工、販売まですべて手がける。無添加の「あわせみそ」2kg、小麦粉をベースに紫芋やヨモギなど練り込んだ「野菜かりんとろ」4種類をセットにして、7人にプレゼントします。はがきに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、記事の感想をお書きのうえ、〒840・0815 佐賀市天神3の2の25 朝日新聞佐賀総局「旅しよ!」係へ。11日(木)必着。

次回は12日。鹿児島市街地の対岸4kmで煙を上げ続ける活火山、桜島を紹介します。